

平成 22 年 12 月 28 日に山口県下関市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

12 月 28 日 11 時頃に下関市豊北町矢玉で突風が発生し、住家一部損壊などの被害が発生した。

このため 28 日、下関地方気象台は気象庁機動調査班を派遣し、現地調査を実施した。

結果は以下のとおりである。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性はあるが特定できなかった。

(根拠)

- ・ 被害地付近で飛散物を巻き上げながら移動する渦の目撃証言があったが、被害範囲の形状、被害や痕跡から推定した風向分布では判断できなかった。
- ・ 漏斗雲の目撃情報は得られなかった。

(2) 強さ (藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールで F0 と推定した。

(根拠)

- ・ 複数の住家で屋根瓦のめくれや落下がみられた。

\* この資料は、最新の情報により内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先  
下関地方気象台 防災業務課  
電話 0 8 3 - 2 3 4 - 4 0 0 7  
技術課  
電話 0 8 3 - 2 3 4 - 4 0 0 6